

世界の主な地震

平成 31 年（2019 年）2 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。



図 1 平成 31 年（2019 年）2 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 平成 31 年（2019 年）2 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	02日01時14分	N14° 45.8′	W092° 17.9′	68			6.6	メキシコ、チアパス州沿岸			
2	02日18時27分	S02° 51.6′	E100° 1.2′	10			6.1	インドネシア、スマトラ南部			
3	12日21時34分	N19° 23.3′	E145° 42.1′	127		6.5	5.9	マリアナ諸島		○	
4	15日04時57分	N35° 26.2′	W036° 5.5′	10			6.2	大西洋中央海嶺北部			
5	17日23時35分	S03° 20.6′	E152° 8.1′	368			6.3	パプアニューギニア ニューアイルランド			
6	21日22時22分	N42° 45.9′	E142° 00.2′	33		5.8	(5.6)	胆振地方中東部	軽傷者 6 人等		
7	22日19時17分	S02° 11.9′	W077° 1.4′	132			(7.5)	ペルー／エクアドル国境	ペルーで負傷者5人等		○

・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder”
(<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2019 年 3 月 1 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj
の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。

・被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、
総務省消防庁による。

・地震発生時刻は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9 時間] である。

・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照)
を発表したことを表す。

・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

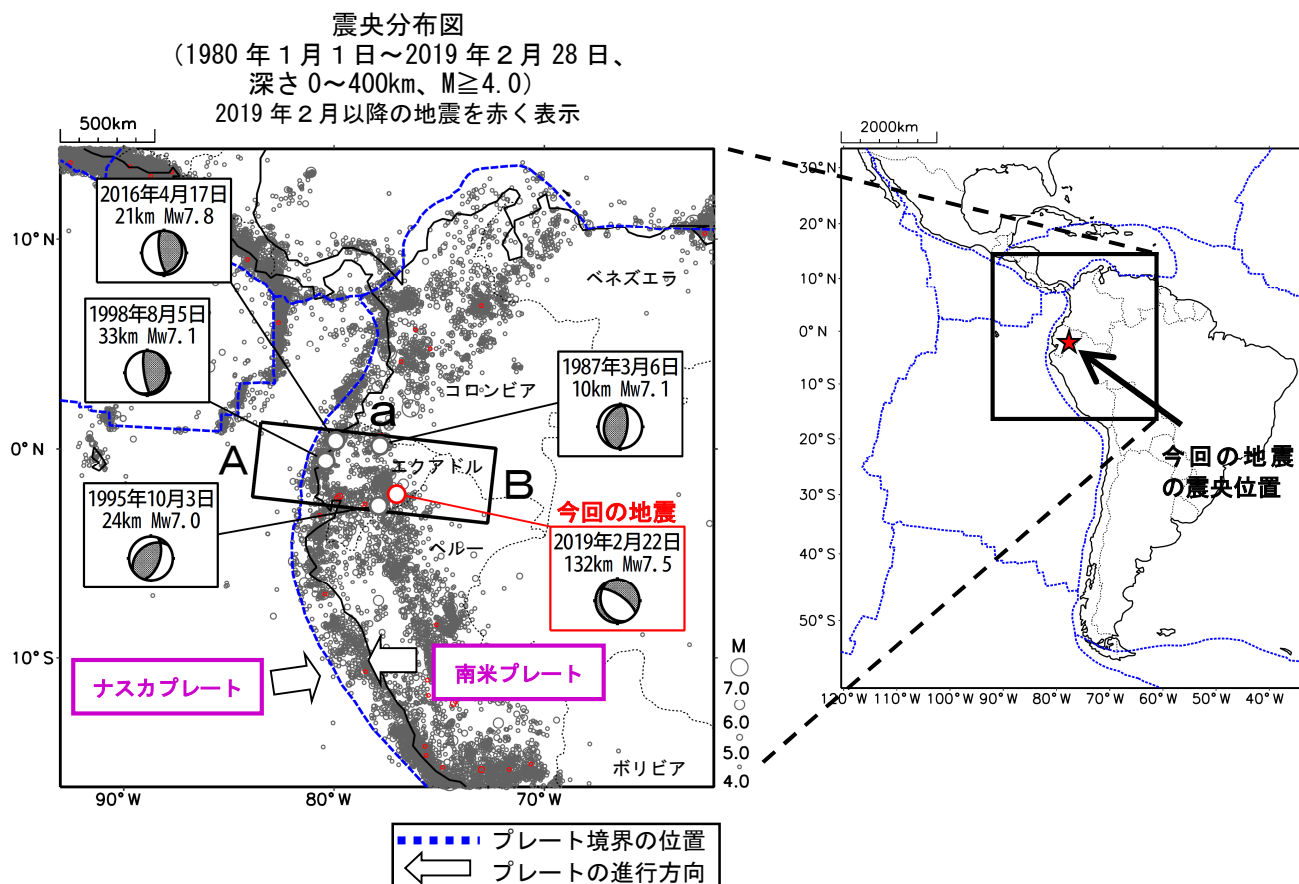
・深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

2月22日 ペルー／エクアドル国境の地震

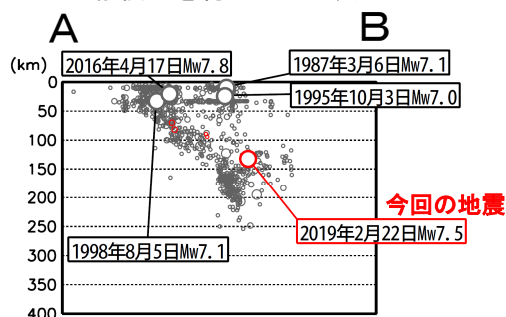
2019年2月22日19時17分（日本時間、以下同じ）にペルー／エクアドル国境の深さ132kmでMw7.5の地震が発生した。この地震は、南米プレートの下に沈み込むナスカプレート内部で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は、ナスカプレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

気象庁は、この地震に対して、同日19時41分に遠地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。この地震により、負傷者5人等の被害が生じた（2月23日現在、被害は国際連合人道問題調整事務所（OCHA）による）。

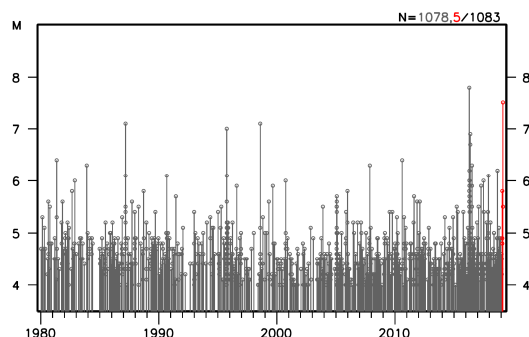
1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が度々発生している。今回の地震の震源付近では、1987年3月6日にMw7.1の地震が発生し、死者5,000人等の被害が生じた。また、エクアドル沿岸では、2016年4月17日にMw7.8の地震が発生し、死者660人以上等の被害が生じた。



領域a内の断面図（A－B投影）
縦横比を約2：1で表示



領域a内のM－T図



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。また、1980年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2019年2月28日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。1987年3月6日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。2016年4月17日の地震は米国地質調査所（USGS）による。

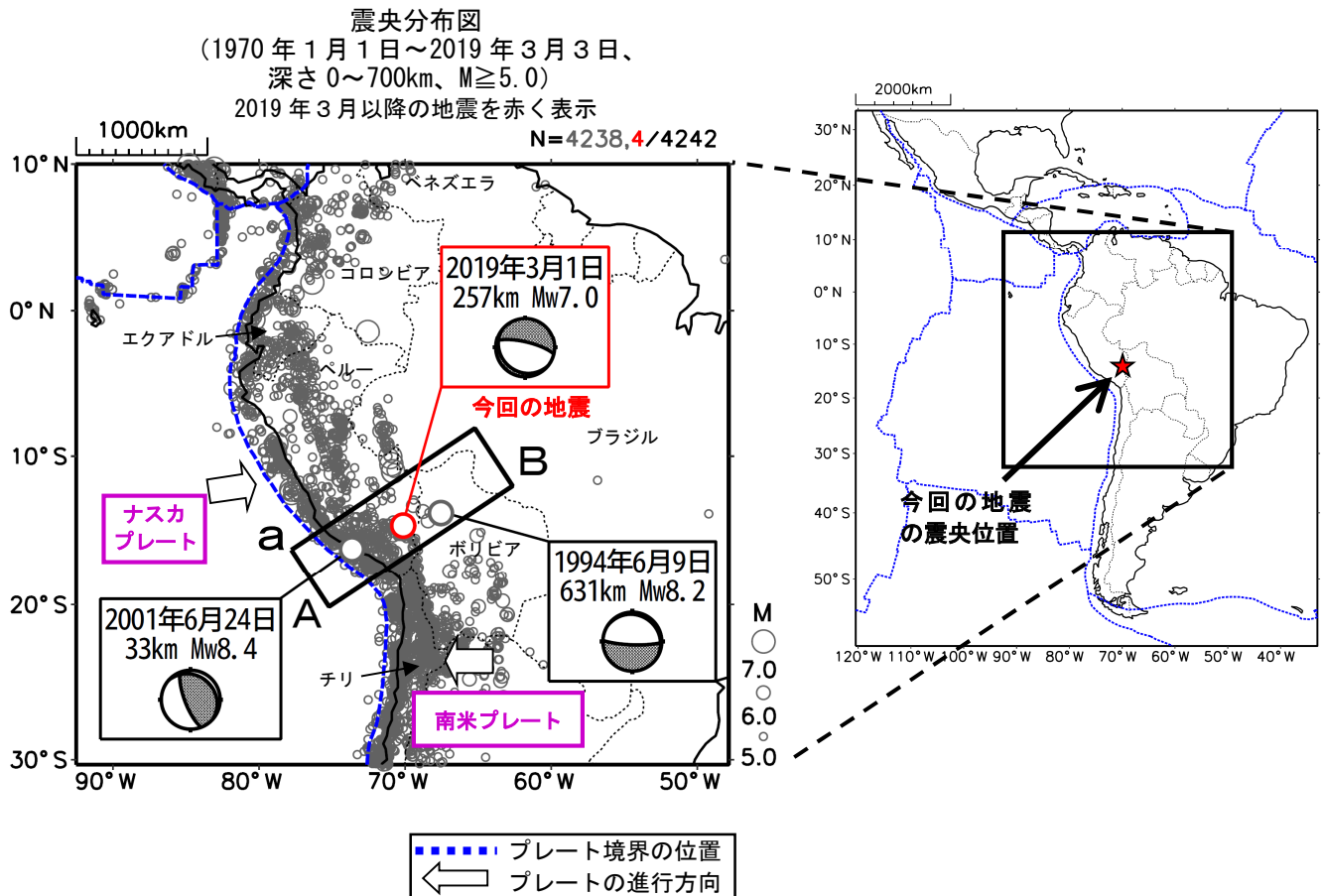
*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

3月1日 ペルー中部の地震

2019年3月1日17時50分（日本時間、以下同じ）にペルー中部の深さ257kmでMw7.0の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、ナスカプレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、南米プレートの下に沈み込むナスカプレート内部で発生した地震である。

気象庁は、この地震に対して、同日18時12分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生しているが、M7.0以上の地震が発生したのは今回が初めてである。今回の地震の震央付近（領域a）では、2001年6月24日にMw8.4の地震が発生し、死者139人等の被害が生じた。また、近隣のボリビアでは、1994年6月9日に深さ631kmでMw8.2の地震が発生し、死者10人の被害が生じた。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。また、1970年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2019年3月4日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。1994年6月9日の地震及び2001年6月24日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.